

2024 年度 卒業制作
「おとなの絵本」－ 大人に向けた言葉の絵本 －

金城学院大学 国際情報学部 国際情報学科
グローバルスタディーズコース
2151068 長谷部 有咲

作品概要

言葉に触れる機会を提供し、改めて言葉の力・影響力について考えてもらう、大人に向けた絵本の制作をした。また、目的が達成されたかを確かめる手段として、実際に作品に触れてもらい 10 代～20 代を対象にアンケートを実施し目的が達成出来たかを判断した。

1. 背景

昨今、SNS などネット上での誹謗中傷が問題になっている。ある調査によると、「10 人に 1 人は SNS で誹謗中傷を受けたことがある」という（図 1）。そんな誹謗中傷を受けたことで、命を落としてしまう人が後をたたないことも事実である（図 2）。

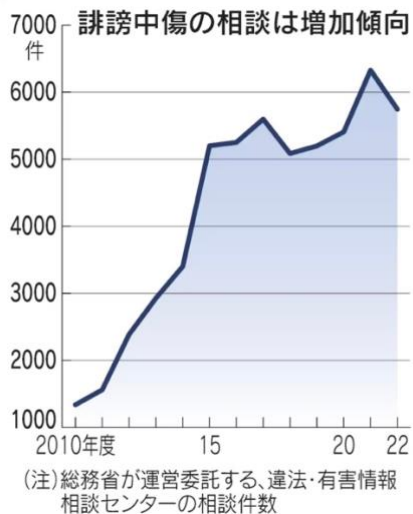


図 1 誹謗中傷の相談者傾向

<https://x.gd/r3k2J>

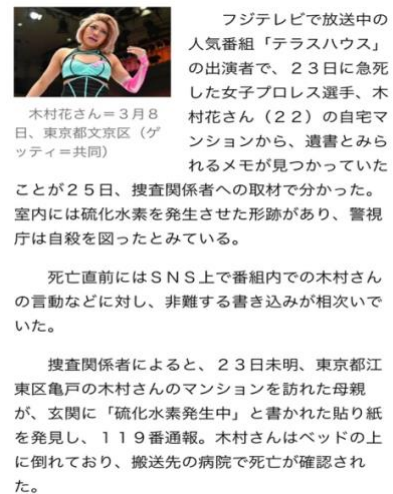


図 2 女子プロレス選手、木村花さんのニュース

<https://x.gd/ZXeDa>

私自身、SNS を利用している中で悪質なコメントなどを目にすることが増えたように感じる。そんな中で、この誹謗中傷問題の対策が進んでいるのも確かだ。ここ数年の中でも法律が改正され、情報開示請求など被害者が誹謗中傷に対抗できる武器も少しずつだが、増えてきた。

誹謗中傷をしてしまう背景には、SNS で言えば匿名性という点にあると考える。匿名性があるが故に、言葉の重みを考えることなく簡単に発言できてしまう。

世の中、沢山の言葉で溢れているが、その中から人を傷つける言葉を選択し発言し

てしまう人が一定数いることは悲しい現実である。誹謗中傷を減らす一歩として、言葉の重みを考えることが大切だと思う。だが、そもそも言葉に触れ・考えるという機会を失ってしまっている人も多いのではないかと考える。

2. 目的

作品を通して、言葉に触れてもらうだけでなく、言葉に向き合い影響力や使い方について考えてもらうことである。そして、作品で取り上げていない言葉にも興味を持ってもらうきっかけをつくる。

3. 手法

Illustrator を用いて絵本の制作を行った。絵本という形にした理由は2つある。1つ目は、読み物に苦手意識を持たれている方にも手に取りやすい物にしたいと考えたからである。2つ目は、文字だけでは感じ取れないものを感じ取ってほしいと思ったからである。言葉のイメージを膨らませる為に、「素材」「色」「花」という3つの要素を用いた。ただ言葉を並べるのではなく、言葉を視覚化・触覚化するために、様々な素材を貼り付けて表現した。

さらに最後のページには、作品をみた方の言葉に対するイメージを描いてもらう意見交換ページを設けた。そうすることで、他の人の言葉に対する考え方などにも触れてもらえると考えた。

4. 制作過程

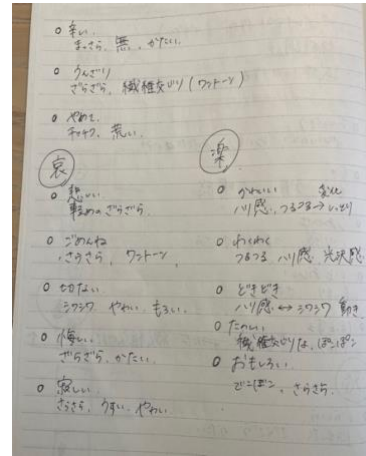
1) テーマを決定

自分自身、本を読むことで「言葉」から多くの影響を受けてきた。また、SNSを見ているとたくさんの言葉で溢れているが、使い方一つで凶器にもなりうると感じていた。3年時には、「ファッション」をテーマに制作に取り組んでいた。そしてその要素を用いながら、「言葉」の影響力を伝える作品を作れないかと思い卒業制作のテーマとして取り上げることを決めた。

2) 情報収集

感情を表す言葉を書き出し、それらを「喜怒哀楽」で分類分けをした。そして、これらの言葉の意味を調べ、それぞれに当てはまる「花」「素材」「色」を書き出した。

(図3, 4)



写真左：図3「東京植物図鑑の花図鑑 1000」2023年，日本文芸社発行

写真右：図4 言葉の分類メモ

3) アイデア出し

大まかなページの構成、デザインを考えた。(図5～9)

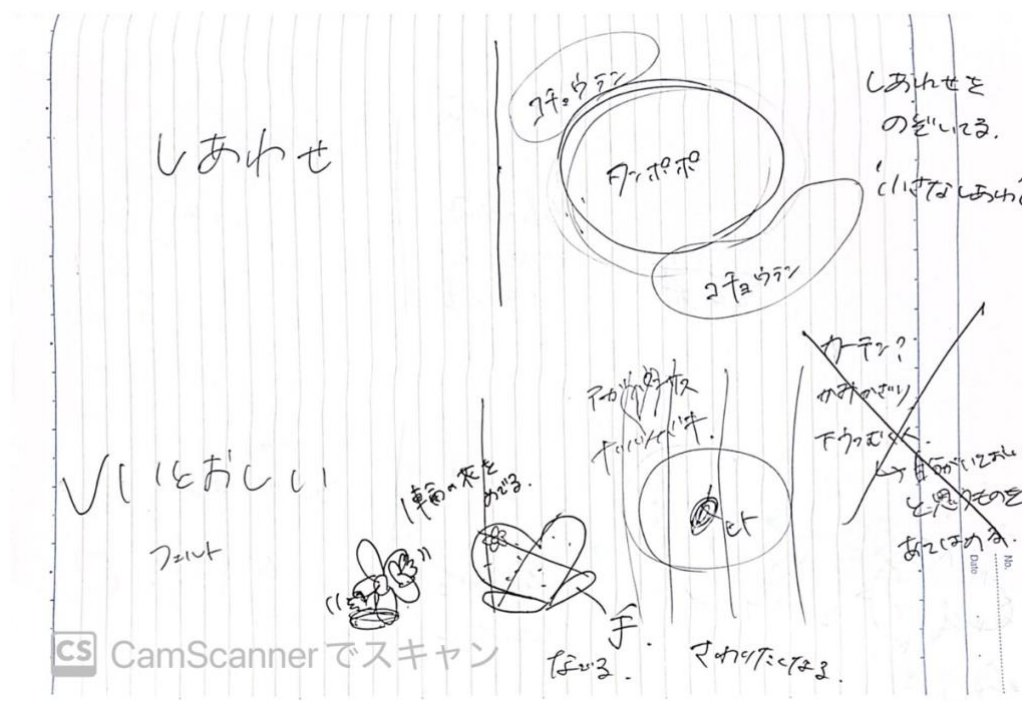


図5 アイデアノート 1

4) データ作成開始（使用ソフト: Adobe Illustrator）

「喜怒哀楽」それぞれで、統一感のあるカラートーンになるよう作成。絵本っぽさを出すためにも、可愛らしく親しみやすい絵のタッチを意識した（図 10～12）。

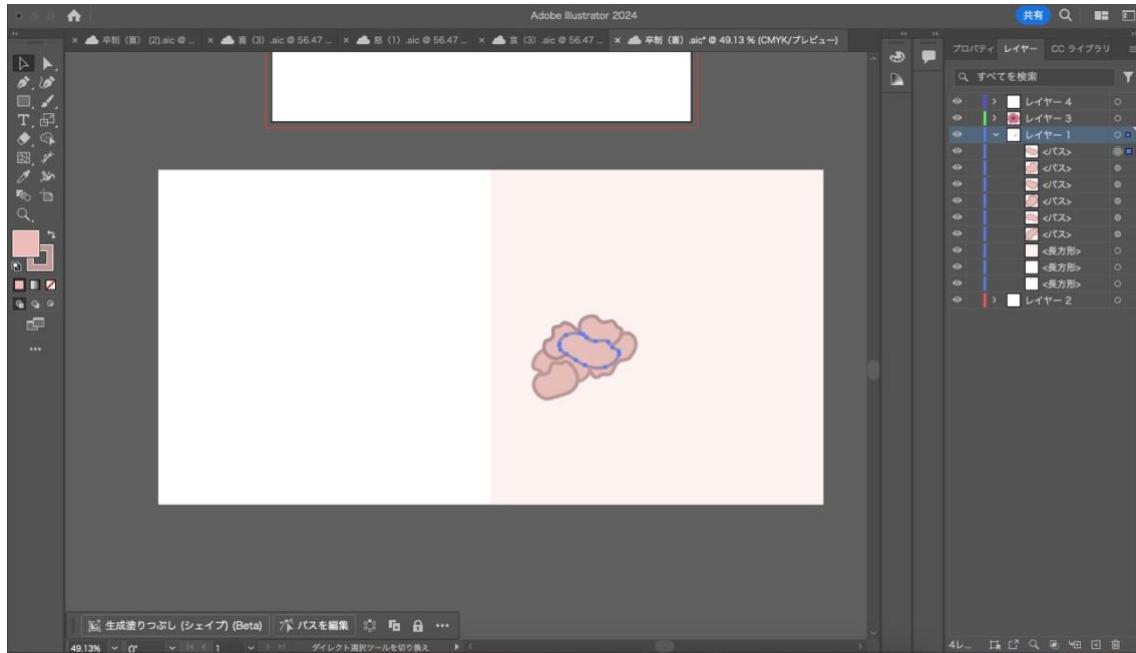


図 10 【喜-ありがとう】制作途中



図 11 【喜-ありがとう】完成デザイン

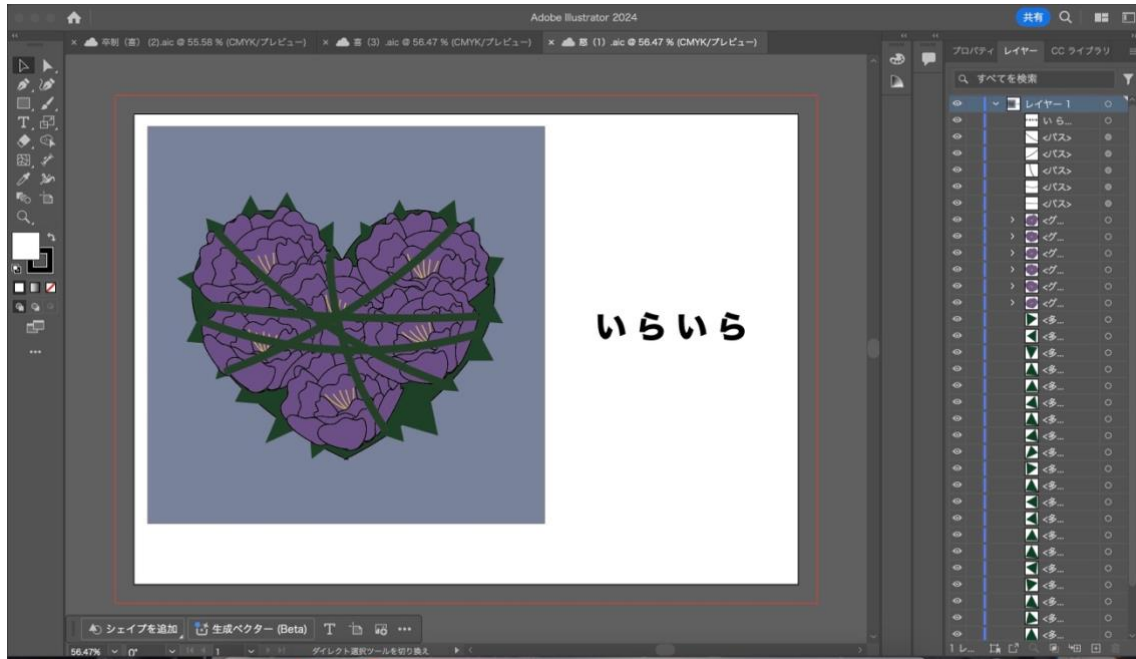


図 12 【怒-いらいら】デザイン

素材を貼り付けることや、仕掛けをつけることも考えながら、その言葉を視覚化したらどんな風になるかを想像し描いた。一目見て単純に理解できるものだけでなく、見た人の想像力を掻き立てるページを作ったことも大きな特徴である。

5) 表紙の作成

表紙は「喜怒哀楽」を表現する絵文字を添えたデザインに仕上げた。見た人に先入観を与えてしまわないよう、敢えて色はのせず真っ白な状態にした（図 13）。



図 13 表紙モチーフ作成画面

6) 印刷

印刷は学内のプリンターで行った。

7) 素材貼り付け

アイデアノートに書き出していた素材をもとに、それぞれの言葉のイメージと照らし合わせながら貼り付けていった（図 14）。



図 14 使用した素材一部

8) 製本

製本をするにあたって、製本のワークショップに参加した。今回参加したのは、瀬戸市の本屋「本・ひとしずく」さんの2階『ふたしずく』さんで開催されたワークショップである。このワークショップでは、フレンチリンクステッチという手法を用いた製本だった(図15~17)。

この手法で制作を取り組もうと考えたが、製本で用いる器具や材料の面で難しく断念した。次に、厚紙で一から本を作ることも試したがなかなか上手くいかず断念した。

そのため、今回は一から製本することはせず、白紙の絵本に印刷した紙面を貼り付けることで完成させた（図 18）。



図 15 ワークショップで製本したノート（表紙）



図 16 ワークショップで製本したノート（背表紙）



図 17 ワークショップで製本したノート（中身）

画用紙絵本ノート

中・14枚・約185×185mm

商品番号 02571252



★★★★★ 4.8 / 5 (30件)



図 18 使用した絵本 【無印良品画用紙絵本ノート】

5. 結果

完成した作品を見ていただき、Google フォームを用いて感想アンケートを実施した。アンケートは、『普段読み物を読む方』に向けてのものと『普段読み物を読まない方』に向けてのもの2種類を作成した。

読み物を読む方・読まない方共に、作品が手に取りやすく言葉に触れる機会になったという回答を得ることが出来た（図 19～22）。

【読み物を読む方】

Q2 「おとなの絵本」は手に取りやすかったですか。

3件の回答



図 19 アンケート結果 1

Q4 この作品は、言葉に触れる機会になったと思いますか。
3件の回答

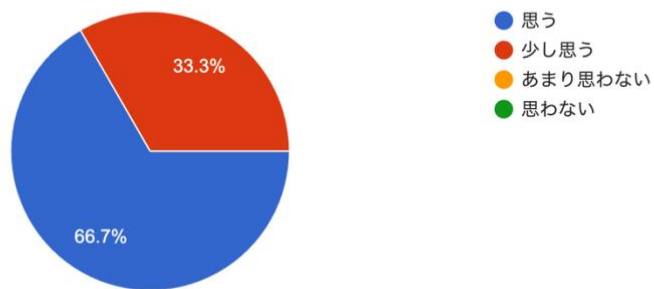


図 20 アンケート結果 2

【読み物を読まない方】

Q4 「おとなの絵本」は手に取りやすかったですか。
3件の回答



図 21 アンケート結果 3

Q5 この作品は、言葉に触れる機会になったと思いますか。
3件の回答



図 22 アンケート結果 4

【手に取りやすかった理由】

- ・ ページ数が少なく、色使いが綺麗だった
- ・ 一般的な絵本とは違い、見るたびに興味が湧いてきた。次はどんな言葉だろう？と先が気になり、とても楽しく読めた。
- ・ デザインが可愛いかった。
- ・ 本自体に厚みがあり、開いてみたいと思った。
- ・ シンプルな表紙から、中身がどんな風なのかと手に取ってみたいくなった。
- ・ シンプルなデザインと、ページから少し飛び出たレースなどが興味をそそりました。

【作品を通しての感想】

- ・ 単語一つひとつから、シチュエーションを思い浮かべるきっかけになった
- ・ 色々な考え方がある中で、花で言葉表現することでイメージの変化があった。
- ・ 普段使っている言葉を可視化すると、このような物になるのかと驚きと面白さがあった。
- ・ 自分が普段どのように言葉の意味やイメージを捉えているのか明確になった。他の人と意見を比較するのも面白かったです。
- ・ 自分自身の考える言葉のイメージと作者のイメージが異なっているものに対しては特に考えに変化がありました。

6. まとめ

これらのアンケート結果を受けて、過半数の人から「作品を通して言葉に触れ、改めて言葉について考える機会になった」という回答を得ることができた。このことから、言葉に触れる機会を提供し、言葉の力について考えてもらうという点で、目的を達成することが出来たのではないかと考える。また、「絵本」という形をとったことで普段読み物を読まない人からも手に取りやすかったという回答を得られた。このことから、普段読み物を読まない方にも手に取ってもらいやすい作品作りの工夫ができたと考える。

課題としては、最後のページに設けた意見交換ページがうまく活用できなかったことである。白紙のページに何かを書くことに抵抗がある方が多かったのだと考えた。

よって今後の課題として、より見た人がこの作品に参加したいと思うような意見交換の手段を考え、視覚的に楽しめる方法を模索し、言葉の力や面白さを伝えていきたいと考えている。

7. 使用ソフト

Adobe Illustrator

8. 参考文献・参考資料

- ・東京植物図鑑の花図鑑 1000, 日本文芸社
- ・広辞苑第7版, 岩波書店
- ・カラーチャート (検索日 2024 年 7 月 9 日)

<https://www.colordic.org>

- ・日本経済新聞 ネットの誹謗中傷 (検索日 2024 年 12 月 10 日)

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA0823P0Y4A100C2000000/>

- ・PRTIMES 株式会社アシロ 誹謗中傷に関するアンケート調査
(検索日 2024 年 12 月 10 日)

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000203.000032382.html>

- ・産経新聞 「テラスハウス出演、木村花さんに関する記事」
(検索日 2024 年 12 月 16 日)

<https://www.sankei.com/article/20200525-566M5KMNT5LO7GNVLUN3SEHBXQ/>

- ・東京新聞 プロバイダー責任制限法に関する記事 (検索日 2024 年 12 月 17 日)

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/326157>

- ・BRAND CLOUD 誹謗中傷に関する記事 (検索日 2024 年 12 月 17 日)

<https://brandcloud.co.jp/column/security/hibou-chusyo/bs-24/2023/>